

事務事業 No./名称	■サービス部門 拠点-04 西口整備事業 □支援部門						
主管課	再開発課	関連課	各部各課				
分野名	市街地整備						
目標 (目標値)	都市基盤の整備により、大船駅西口利用者の利便性と安全性の向上を図る。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	414	4,147	1,285,612			
	(国・県)			9,500			
	(負担金等)			671,500			
	(一般財源)	414	4,147	604,612			
	人員配置数	1.4人	1.8人	4.0人			
	人件費(千円)	10,608	14,231	36,736			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	11,022	18,378	1,322,348			
	市民1人当りの経費(円)	62	104	7,462			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
鎌倉市域での整備計画の進捗状況	○	目標値	整備完了	整備完了	事業成果等検証	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直し	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直し
		実績値	整備	整備完了	事業成果等検証	見直しに係る調整	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
西口整備事業	0	大船駅西口整備事業	32	今後の方向性	B	理由・手法	神奈川県及び横浜市と協議・調整を継続していく。
西口整備運営事業	414			今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しに係る調整。											
課題解決のための取組	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しについて、神奈川県及び横浜市との調整を開始した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決					
未解決の課題	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しについて、神奈川県及び横浜市とさらなる調整が必要となる。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しについて、神奈川県及び横浜市と協議・調整を進める。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	B			
※□事業完了												

評価者名

再開発課担当課長

猪本 昌一

